

コミュニティ くわう

人と人とまちの間に

2023.JAN
134号

1

編集発行

公益財団法人 草津市コミュニティ事業団



もくじ CONTENTS

FEATURE

はたらき世代、まちも楽しむ。

- ② 屋台が運ぶ、本と会話と笑顔。 学び床
- ④ おうちヘアカットで家族のコミュニケーションを CH北山ヘアカット研修会

- ⑥ まち語り 一枚の写真
- ⑦ ご近所さんが くさつがわ家とお隣さん～これって、みんなの問題～
事業団からのお知らせ
- ⑧ 熊谷栄三郎の徒然草津 第43回 下手な字
もじうめスッキリ
ボイス

まちの緑をまもる

お揃いのベストと手慣れた様子で街路樹の剪定をする「志津南環境美化ボランティアの会」の面々。皆さん、ここで暮らすボランティアさんです。まちの緑地帯や通学路、高齢で庭の手入れが難しくなった家から空き家の庭木まで、今日もどこかで緑の手入れ。フツーにまちがきれいなのも、毎日が安全に暮らせるのも、こうした皆さんのがいてくれるからこそ、ですね。

桃始笑（ももはじむし）は桃のつぼみがほころび、花が咲（さく）む頃（ごろ）の10日～14日頃を表す七十二候の一つ。昔は花が咲くことを「笑（わ）く」と云（い）つていたのだが、あと2ヵ月もすれば、こんなあたかな春なんですね。七十二候は自然の変化を細やかに感じられる国ならではの暦。5～6日ぐらいいは新しい季節が巡ってくるなんてワクワクします。



「時間に余裕ができたら趣味や旅行を楽しみたい」って人、多いですよね。一方で「これまでの経験を活かして、まちや人の役に立ちたい」なんて声もよく聞きます。そんな皆さんを応援する私たちは、今からあなたと出会える日を楽しみにしています。

さて今回は、現役世代を中心の活動をご紹介。なにかと忙しい働き盛りの世代。日々の暮らしと折り合いをつけながら、家庭でもない職場でもない関係をまちの中につくる。

それはきっと、まちも自分も豊かになる、ってこと。

屋台が運ぶ、本と会話と笑顔。

屋台といえば、あなたは何を思い浮かべますか。ラーメン、焼きそば、たこやき、おでん…。

縁日や初詣など楽しい時間と結びつくことが多いためか、屋台と聞くだけで心躍る、なんて人もいるのでは。そんな「みんな大好き屋台」ですが、最近は食べ物ばかりでもなさそう。公園にいたその人が屋台に並べていたのは、「本」。「学び床」の池田さん、その人です。なんとも不思議な本の屋台に寄ってみます。

D-I-Yでモバイル本棚

空の青と芝生の緑に、白木の屋台が良く映えます。屋台といふよりは「動く本棚」といったイメージ。実はこれ、池田さんがD-I-Yで造ったものです。3連式で、いざ移動となればコンパクトに折りたためる優れもの。池田さんは休日ともなると、このモバイル本棚にお気に入りの本を積み込んで、公園やイベント会場へと出向くのです。

会場でいざ本棚を広げると、本が好きな人もそうでない人も、興味深く近寄ってきます。本をバラバラとめくりだす人、そのままについて質問する人、おススメ本を持ち寄つて互いに紹介しあう人…、と本を仲立ちにした会話があちらこちらで弾みます。

本が取り持つ縁。そこに本があるからこそ知り合った人たちの、なんともゆるやかな「コミュニティ」が生まれます。

まな 学び床

池田瞬介さん(32歳)



草津市コミュニティ事業団

**ひと
まち** キラリエ
助成
2022

本をもつて出かけよう

それにしても、モバイル本棚つてユニークな発想ですね。

「他県の話ではありますが、空き店舗に大きな本棚を置いて、本好きの人たちがその一棚のオーナーになつて、紹介したい本を並べる取り組みを知りました。本の貸し借りだけでなく、企画を催したり、何かチャレンジしたい人に場所を提供したりして、いつしかその空き店舗は知らない人同士が知り合い、つながる場所になつていたんです。

人々、自分も本が好きだったため、ここ草津でもできないかで、ここ草津でもできないか

なあと思ったんです」

でも空き店舗や空き家って、確保するだけでも大変そう。

「そつなんです。それなら場所にこだわらず、まずは自分が本を持って外に出てみようと思つたわけです」

サードプレイス 第3の居場所

池田さんは現在32歳で子育て真っ最中。仕事も家庭も充実した生活を送る一方、大変忙しい毎日です。貴重な休日を使ってでも活動する理由を聞いてみました。

ぬか床のよう

「育休で会社を離れていた時に『社会人がまちとつながる方法つて何だろう』と思ったのがきっかけでした。会社員として、だけじゃない自分にできるつながり方みたいなもの。それで私たち世代には地域や地元の人たちとつながれる場所、家庭でも職場でもない『サードプレイス（第3の居場所）』が必要だと感じて。

もちろん好きな趣味に没頭するのもいいんだろうけど、できれば色々な人と会えたり、自分たちのもつてることが誰かの役に立つたものが誰かの役に立つた

りと、社会的な意義やつながりを持ちたかったんですね。

少子高齢化やデジタル化が進んで、『公共』というもののどちら方が広がっているように思うんです。そんな今だからこそ、働き盛りの私たち世代が、地域に関わっていく意義も大きいんじやないかと思っています。

私たち世代にとって、この活動が『まちの入口』になればいいなと思います。ただ、家族に迷惑をかけることもあるので、それは今後の課題です…（笑）」

特に私たちのような若い世代なら地域で自分を活かせるチャンスもたくさんあるんだと思います」

「と、みんなが本を縁にして寄り合ひ、学びや気つきをそれぞれがもつて帰つて、自分の地域や職場で活かせたら素敵だと思います」

ちがう分野の職業、ふだん関わりのない世代、専門知識をもつ人やそうでない人…

「と、みんなが本を縁にして寄り合ひ、学びや気つきをそれぞれがもつて帰つて、自分の地域や職場で活かせたら素敵だなと思います」



と楽しい時間を創ること。そしてお客様や出展者同士がゆる~くつながるところ。若い世代の皆さんが始めた「人とのつながり方」は、これからの中のコミュニティの形の一つかもしれませんね。

明日はあなたのまちに、モバイル本棚がやってくるかも。
あなたも本を片手に訪ねてみませんか。



学び床
フェイスブック



活動の様子は、えふえむ草津
草津市コミュニティ事業団提供
「くさつ☆コミュニTea Time!」
オンデマンド放送でも
お聞きいただけます



第30回(2022年3月)放送



池田瞬介さん

FEATURE

おうちヘアカットで 家族のコミュニケーションを CH北山ヘアカット研修会



▲イメージ

いつもはお店で髪を切る人の中にも、幼いころは家族にカットしてもらつた、って人は意外に多いかも知れませんね。

高齢・障がい・介護・子育てなど、様々な理由でお店に行くことができない人に、家族が自宅でできるヘアカットを教える美容師さんたちがいます。

家族のヘアカット

「へえ」「なるほど」

驚きとも感心ともとれる声が部屋の中に響きます。この日、長寿の郷ロクハ荘のホールに集まつた人たち。子育て中のママが多いようですがパパの姿もあります。ご年配の女性もみえます。

皆さん手にはハサミとクシ、そして眼は講師の手元にくぎづけです。

今日は「CH北山ヘアカット研修会」のホームカット体験会。参加したパパは「子どもがまだ8か月で美容室にも連れていくないでしょ。髪が伸びてきたので家でカットしてあげたいなと思つて。妻に誘われて一緒に参加しました」

70代の女性は「車イス生活の夫の髪を切つてあげたくて参考しました。私も家中ばかりだと気が滅入つてしまつので、こうして外に出て学べるのは楽しい」と笑顔がこぼれます。

行けない人たちがいる

家庭でできる簡単で安全なヘアカット技術をプロの美容師が教える。CH北山さんのこのユニークな活動。きっかけは代表を務める中村さんの経験でした。それは、美容師として京都で店を開いていた中村さんが持病で入院していた時のこと。

アカツト技術をプロの美容師が教える。CH北山さんのこのユニークな活動。きっかけは代表を務める中村さんの経験でした。それは、美容師として京都で店を開いていた中村さんが持病で入院していた時のこと。

ベッドの上で中村さん。

「入院生活も長くなると美容室にも行けなくなつてしまふ。入院患者だけじゃない、自宅での介護が必要な高齢者、他人に身体を触れられることが苦手な障がい者、じつと座つていられない子どもだって、そう。

世間には美容室に行きたくて

も、その人なりの理由があつて行けない人がたくさんいる。そんな人に家族が家でカットしてあげられたら…。安心できる人が、安心できる場所です安心へのアカツト。そのため自分たち美容師は何ができるんだろう？」

こんな思いをずっと、温めてきた中村さんは60歳を機に京都で活動を始めます。美容師をはじめ介護や福祉の専門家など中村さんの思いに共感した有志も集まり、活動は草津や大津にも広がつていきました。

子どもの次には父母を

メンバーワーの美容師さんです。

「元々、美容室に勤めていました。店の同僚は仲間でありライバル。毎日、技術を磨くことばかり考えて、心にゆとりがもてなかつたんです。子育てで仕事を離れた時、私自身も実際に子どもを美容室に連れていく大変さを経験したことあります。

そうして復職を考えること、この活動に出会つたんです。お店への現場復帰も考えていますが、今は元気な父や母もやがて老いていくことを考えると、この活動は世の中に必要なんだと感じて、このまま続けたいといふ気持ちが勝りました」

だから、この美容師さんは活動に参加してくれた若いパパやママに必ず言つてることがあります。

「お子さんがおうちヘアカットを卒業したら、次はぜひお父さ



草津市コミュニティ事業団
ひとつキラリ
助成
2018

コミュニティ
くさつ

ん、お母さんの髪を切つてあげてくださいね」って。

届けるために

ヘアカットの体験会、講習会にはたくさんの方が参加されます。家族の介護をしている人、障がい者の家族など、ヘアカットに困っている人たち。切羽詰まつた人も少なくありません。

認知症の妻を見る70代の男性は、たとえ講習の途中であっても、毎回きつちり1時間で切り上げて帰ります。それは家で妻が待っていて、それ以上、家を空けられないから。

左手にマヒがある人が参加されたこともあります。丁寧に教えたつもりでもカットが思うようにできず、次から講習になくなってしまいました。

指導にあたった美容師さんは自分の未熟な伝え方に歯がゆさと勉強不足を感じたのだとか。

ヘアカットはプロでも、人に教えとなると話は別。だから毎回、新しい気づきがあつて、参加者からも意見をもらひながら、わかりやすく伝える工夫を重ねます。

例えば言葉。講習会では専門用語は使わず、「ハサミ」「クシ」

耳が遠い人、手話で話す人、手や足が不自由な人……。今は他の参加者と同じペースで進められない人のために「ぼちぼちコース」なんてつくれないか、どメンバーの思いは広がります。

と耳慣れた言葉を使います。例えば技。プロがお店で使う技術でなく、素人でも簡単でキレイにできるコツを伝えます。それもこれも本当に必要としている人にこの技術を届けたいから。



△子どもの
おしごと体験会

CH北山さんには大切な“こだわり”があります。それは団体のテーマにもしている「ヘアカットでコミュニケーション」

そう、家族がするヘアカットは単に髪型を整える作業ではなく、コミュニケーション。お互いが笑顔で心も豊かになる癒しの時間になってほしい。「髪を切つてもらうのは信頼している人にしかできないことだから、会話がなくてもつながりを確認できる行為なんです。ムリしておしゃべりしなくたって、髪に触れてるだけで『沈黙のコミュニケーション』になるんです」

資格や経験をまちに活かそうとするCH北山さん、これからも注目です。

CH北山ヘアカット研修会

HP <https://culture-kitayama.com/>



活動の様子は、えふえむ草津
草津市コミュニティ事業団提供
「くさつ★コミュニTea Time!」
オンデマンド放送でも
お聞きいただけます



第2回(2019年11月)放送



まちのあらゆる場面で培われてきたコミュニティの形。
その一瞬を捉えた一枚の写真から「これから」のコミュニティを見つめます。

写真は草津宿本陣で催された狂言会の光景です。雪の舞う寒い夜、三人の熱演に多くの観客が見入っています。この狂言会は、平成2年(1990)2月の2日間にわたって開催された「さよなら またあいましょう! 草津宿本陣フェスティバル」の一環として行われました。このフェスティバルは、この後約6年間にわたり実施される「草津宿本陣保存整備工事」に先立ち開催されたものです。

「本陣」とは、江戸時代に各宿場町に置かれた公家や大名などの休泊施設で、明治に入るとその役割を終え、姿を消していきます。そのような中、草津宿本陣は当主たちにより大切に受け継がれ、郡役所や公民館などに利用されながら存続し、昭和24年(1949)には江戸時代の旧姿をよくとどめている近世交通史の遺構として、国の史跡に指定されました。しかし、傷みや老朽化が著しく、草津市では一般公開へ向け大規模な保存整備工事を実施することとなりました。

工事中は素屋根が掛けられるなど、本陣建物の姿を見ることができなくなることから、地元の「本町・元町再活性化協議会」が中心となって、草津宿本陣の歴史的意義と、市の誇るべき文化遺産としての重要性などを再認識しようと、前述のフェスティバルが開催されました。狂言会のほか、本陣の無料公開や歴史講演会、浮世絵展も行われ、人々は本陣とのしばしの別れを惜しみながら楽しいひとときを過ごしました。そして平成8年(1996)3月には保存整備工事が完了し、翌月から一般公開され、草津を代表する文化財の一つとして今日まで市民に愛されています。

草津宿本陣 平成の大修理を前に



文・草津宿街道交流館

もう1枚!
いつも草津の
“今”を伝えたい
本紙。顔となる表
紙はたくさんの写
真から1枚を選ぶ
苦渋の作業。

表紙に載せた
かったもう一枚を
お届けします。

キラリ工のお隣、
フレンドマート(草
津大路店)の「おや
こでたのしむおは
なし会」の一コマ。
絵本の読み聞か
せに夢中になる

親子。笑顔が広がる一角に、買い物中の
人も足を止めて見入ります。

ひとまちキラリ まちづくり活動助成 2022

採択団体 決定!



- わっ香 -wakka-
学校に行きづらい子ども達が人との繋がりを持てる居場所作り
- 明るい不登校@滋賀
平日ひるまの子どもクッキング「できた!」を増やして明るい不登校
- 近江の竹となかまたち
竹林保護活動
- 一般社団法人 異才ネットワーク
不登校の子どもとその親の会～ワクワク～の開催
- 青春歌声しゃぼん玉
音楽で人と人がつながる街づくり
- Bush Clover 玉川
本当にあった心温まるエピソード～ミニ朗読劇～



問合せ (公財)草津市コミュニティ事業団 まちづくり振興グループ ☎565-0477 HP まちサポ <https://www.kusatsu-spp.net>



経営理念 迅速・確実・親切

弊社は2019年度からSDGsへの取組をスタートさせ、それを基盤にして社会貢献を通じて地域から愛される企業に成長していきます。清掃活動等で弊社社員は地域の皆様に大きな声で挨拶をします。

また、弊社は57周年を迎え、改めて今後も永続的に地域の皆様と共に成長してきたいと考えております。

滋賀営業所／〒525-0050 滋賀県草津市南草津2丁目7-16
TEL:077-598-1611 FAX:077-598-1651



株式会社スマイ印刷
<https://sumaiprint.com>
〒520-3014 滋賀県栗東市川辺568-2

SUMAI SDGs

環境のために、社会のために、私たちができること。

スマイ印刷は、「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同します。

「関わる全ての人をSMILEに」という理念のもと、事業活動と社会貢献活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献します。



スマイ印刷は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



ご近所まんが

くさつがわ家とお隣さん ～これって、みんなの問題～

かれこれ40年の「ふれあいタウン」。

どこにでもあるようなこの町で、今日も繰り広げられる
今ドキご近所のちょっとこなれた毎日。

楽しくも少し考えてしまう。

もしかして…これって、みんなの問題かも。

他のおはなし▶



お~い、わすれもの



さく・com-com / え・まんじゅう

ひととまちの未来をつくるカレッジ2022 第4回

草津市の魅力を発見

～くらし、さざえる、地域のつながり～

地域らしさやアイデアを活かした魅力ある活動事例を紹介

事例紹介団体

- 志津まちづくり協議会
- 山田学区まちづくり協議会
- 笠縫東学区社会福祉協議会

総合コーディネーター 山元圭太さん
(合同会社 喜代七 代表)



2月2日木 14:00~16:00

キラリ工草津 6F

定員 100人(先着順・要申込) 無料

問合せ・申込み (公財)草津市コミュニティ事業団
まちづくり振興グループ
TEL:565-0477 FAX:565-0411
✉ com-com@mx.biwa.ne.jp



(社福)草津市社会福祉協議会
「草津市福祉教養大学(第5講座)」との合同開催

ひとりで悩まないで！まずはお電話を！
くらしサポートセンターしが草津がお手伝いします

くらしサポートセンターしが草津
くらし何でも相談
TEL:077-564-5512
住所：草津市大路1丁目1-1 エネイ932 4F 406

電話がかかりにくい場合はこちらへ センターへの相談は無料です

滋賀県労働者福祉協議会くらしサポートセンターしが内
0120-783-455 (くらし何でも相談専用)

読売新聞



読売センター草津西／有限会社 雄
〒525-0029 滋賀県草津市下笠町 1306-2 TEL:077-568-1165 FAX:077-568-3205

ホームページは、[読売センター草津西](#)で検索！ または、今すぐ右のQRコードにアクセス！





熊谷栄三郎の徒然草津
つれづれくさつ

第43回

下手な字

熊谷 栄三郎



今年も年賀状を用意する季節になった。世の中、ここ数年、年賀状をやり取りする習慣が下降してきているという。私は内心ほんとしている。
年賀状を受け取るのはいやでないが、出すのが好きではない。下手な字がいつそう目立つからである。
信用してもらえないかもしないが、私は幼いころから下手な字を書きたいと思って育ったようだ。
なぜそう思ったのか、理由はよくわからない。老いた今でも分からぬ。だけど希望は見事に達成され、今でも文字はおろしこうとに下手である。

そもそも下手な字とはどんな字なのか。自分の字をしみじみと観察してみても、明確には説明できそうにない。ま、こう説明してみよう。

下手な字は少なくとも一本の線がゆがんでいる。そんな

線を組み合わせると、字全体のゆがみがいつそうひどくなる。幼いころから下手な字に好感を持ったのは、そんな字しか書けない自分を正当化したいと思つてたからかもしれない。

ところが、ただ今、この原稿は鉛筆で手書きしている。パソコンが故障しているので仕方がない。

ぐにやぐにに曲がった線ばかりで出来た字を編集者に読んでもらえるかどうか、すこし心配である。

そうだ、思い出した。「新年の

ごあいさつを遠慮させていただきます」という筆法があることを。この手を使えば、下手な字を無理に書くことはないのではないか。

でも、そうすると、下手な字でも書きたいという本心を押しつぶしてしまってどうだろ。

ああ難しいー、と書いてみたが、この字もぐにやぐにやだ。

もじうめスツキリ

心おどる春がやってきます。□に入る5文字を考えてね。

問

- (1) 梅ときたら…別名、春告鳥。
うぐ□す
- (2) 雪解けの中から顔を出す
ふ□のとう
- (3) 大人の仲間入りをお祝いする
せいじ□しき
- (4) バレンタインデーには大切な人に贈ります
□ヨコレート
- (5) 3月3日は
もものせつ□

**応募方法**

ハガキに①答えの5文字②住所・氏名・年齢・連絡先③今号の感想を添えて下記まで。FAX、メールでのご応募もお待ちしています。

〆切 1月31日(火)必着

宛先 〒525-0032 草津市大路二丁目1番35号(キラリ工草津)
(公財)草津市コミュニティ事業団
「コミュニティくさつ1月号」係
✉ com-com@mx.biwa.ne.jp
☎ 565-0411

**プレゼント**

応募いただいた中から抽選でniwa+(ニワタス)内の5店舗で利用できる優待券(1000円相当)を5名様にプレゼント

- ・ブーランジュリーシス
- ・叶匠寿庵
- ・カフェトリ
- ・ミソラテラスイタリー
- ・コニーアイランドスタンダード

くさつ

施設を利用するみんなの声と笑顔をお届けします。

実はわたし、○○名人です!

ロクハ公園

ロクハ公園



「コミュニティくさつ」の経費(企画編集、印刷、折込など)は1部あたり15円です。この経費は事業団が行う公共施設運営管理(指定管理)などの経費縮減などで得る独自の収益金のほか草津市からの補助、市民の皆さんからの寄付および本誌に掲載している企業等の広告でまかなっています。

くさつ
コミュニティ